2015/12 9軸PSDセンサ i-PSD 改 簡易説明書

谷井研 B4 服部

＜概要＞

9軸センサMPU-9250の9軸出力、PSDの四端子出力を一括でPCに送信。

信号処理は全て筐体内で行っており、また電源はUSBから取る為、PCとUSBケーブル一本で接続するだけで測定が開始できます。

＜使い方＞

※今回実装しているUSB通信は従来のRS232C シリアル通信をエミュレートしている仕様の為、PC側からは通常のCOMポートのように認識されます（通信速度はUSB規格に準拠）。デバイスマネージャを開いて本センサを接続するとCOMポートの番号の確認が出来ます。

同梱のIPSD.exeを実行

↓

デバイスマネージャで確認できる番号より1少ないポート番号を入力しEnter

Ex) COM7と表示 → 6 を入力しEnter

↓

保存用のファイル名を記述しEnter（XXXXX.csv）

↓

1を押すとセンサの計測が開始される。

↓

終了する時はCtrl + c

IPSD.exeと同じフォルダ内にセンサデータが格納されたcsvファイルが作成される。

データ数 / 加速度3軸 / ジャイロ3軸 / コンパス3軸 / PSD4端子出力

（PSD4端子出力の右側に意味のないデータがありますが、削除して問題ありません。）

＜現状の仕様＞

・約200Hzで測定

・各種センサのオフセット調整は行っていません。

・一度Ctrl+cした後に再度IPSD.exeを実行した時のセンサの動作が不安定な為、保証できません。

確実に動作させる為には、計測を行う度に再度USBケーブルを抜き差ししてから、

IPSD.exeを実行して下さい。